

あすなる便り H23・2月号



寒さの中にも春の兆しを感じられる頃となりました。
あすなる便りをご覧の皆様はいかがお過ごしでしょうか？

当施設では今月(2月)、<豆まき>と<お餅つき>の行事を行いました。

まずは、3日の<豆まき>の様子をご報告いたします。

豆まきは奈良時代に中国より伝わり、「鬼やらい＝追儼」の儀式として宮廷に広まりました。
日本では、古来より米や豆には霊力が宿るとされ、これらをまいて邪気を払う習わしがあり、江戸時代に現在の形になったと言われています。

「鬼は外～！福は内～！」 鬼の格好をした職員に
向かって思いっきり豆をぶつけ、無病息災を願います。



続いて、あすなる旭オリジナル<紙芝居>の始まりです。
物語の最後には、鬼と仲良く踊りを踊ってご飯を食べるといふ心温まるお話です。
とても「ほっこり」した内容に利用者の皆様の心も和んだ様子でした。



旧暦の小正月にあたる17日(木)には
<餅つき大会>を開催しました。

見て下さい！
この見事な杵さばきを！
この後、施設職員も協力して合計「4升」をつきあげました。





見事につきあがりました！
あつあつ！ホクホク！です。

早く食べたいですね。

さあ、次は女性陣の出番です。
昔とった杵柄(?)で、つきたてのお餅を丸めて
いきます。
あんこ餅、きなこ餅、大根おろし餅が次々と
出来上がりました。



はい・あ～ん！
つきたてのお餅をほお張って、思わず笑顔
が…。

やっぱり出来たてはおいしいもの。
なかなかの出来ばえに満足、満足。



< あすなる勉強会 >

当施設では一月に一度、職員のスキルアップや
他部署との交流を目的に勉強会を行っています。
今回は外部から業者を招いて、利用者様の動きを
感知するセンサーマット等の機器の使い方につ
いて説明を受けました。

少しでも快適な施設生活を送っていただきたいと
願い、勉強会に参加する職員の熱意が伝われば
嬉しいです。

